
SA協議会

2018年度 東京スキルアップミーティング

(2018年8月29日開催)

報告

SA協議会

2018-9-

WG; 大賀、藤井、吉川、青野

塩見、渡辺、井上、外山

スキルアップミーティング(以後,SUM)報告項目

1. 概略計画(WGメンバーにて計画運営を実施)

東京会場

2. SUM参加者

3. 当日の内容報告

東京会場

4. 参加者アンケート結果

5. その他(懇親会)

* 講演資料は別PDFファイルを参照

(ファイルは、会員専用ページ「スキルアップミーティング」を参照)

1. SUM概略計画(東京会場)

開催概要【東京会場】

- 開催日時：平成30年8月29日(水) 13時00分～17時00分
- 開催内容：講演とディスカッション
- 開催場所：明治大学駿河台キャンパス紫紺館3階会議室
- 定員：60名様 ●参加費：無料
- 懇親会費：4,000円 ※懇親会への参加は任意。
- 申込締切日：平成30年8月3日←7月22日案内、実質7月26日締め切り

【プログラム】

受付:12:20 開始

開会:13:00

終了:17:10 頃予定

懇親会:17:45～19:45

【開催内容】

SA協議会会長からの挨拶と基調講演 (60分)

向殿 政男 明治大学名誉教授 タイトル「ISO45001の動向」

第一部 講演

・講演1 向殿安全賞講演 (30分)

太陽誘電株式会社 山岸 様 「設備安全活動の推進及び設備安全教育の実施」

・講演2 向殿安全賞講演 (30分)

アズビル株式会社 渡辺 様 「アズビルAACにおける製品リスクアセスメント審査の取り組み」

第二部 グループディスカッション(30分)

講演内容への質疑応答及び意見交換

情報の提供

懇親会 希望者のみ (17:45～19:30)

(会費 4,000円;「講習会費」の領収書を発行します)

2. 参加者結果

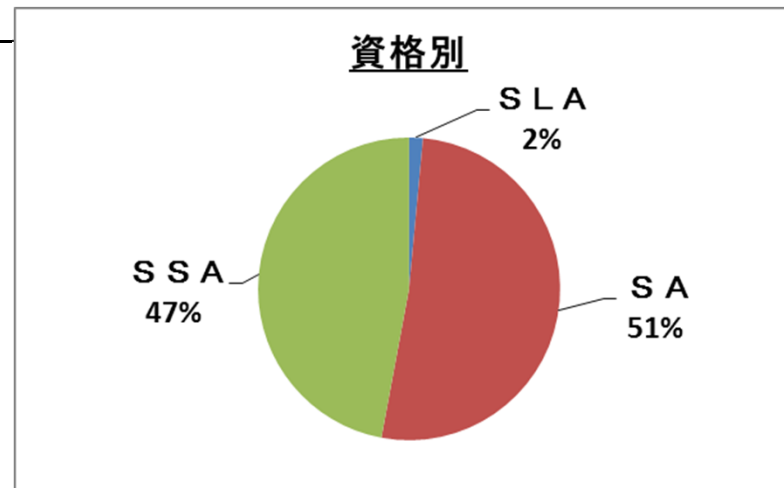
参加希望者

東京 102名(WG含め)

当日参加者

東京 80名+WG他8名

(懇親会参加者 22名)



参加者のSA資格別内訳別



会場満席の
参加者

3. 内容報告

東京会場

【プログラム】 13:00～17:15 司会;大賀氏(関東WGリーダー)

1. SA協議会会長からの挨拶と基調講演 (60分)

向殿 政男 明治大学名誉教授 タイトル「ISO45001の動向」

2. 第一部 講演

・講演1 向殿安全賞講演 (30分)

太陽誘電株式会社 山岸秀雄 様

「設備安全活動の推進及び設備安全教育の実施」

・講演2 向殿安全賞講演 (30分)

アズビル株式会社 渡辺 隆 様

「アズビルAACにおける製品リスクアセスメント審査の取り組み」

3. 第二部 グループディスカッション(30分)

講演内容への質疑応答及び意見交換

4. 情報の提供

5. 懇親会 希望者のみ (17:45～19:30)

場所;「魚盛」御茶ノ水店

3. 内容報告

1. 挨拶及び基調講演 SA 協議会会長 明治大学名誉教授 向殿 政男先生

● 会長よりSA協議会活動のスキルアップミーティングについて「相互交流を図って会員個々が持っている知識経験を交換し、今後の業務、活動に活かしていただきたい」との挨拶があった。

● ご講演「ISO45001の動向」の講演で以下のポイントのプレゼンがあった。

- ・安全に関する国内国際の動向
- ・労働安全衛生マネジメントシステムについて
 - ・労働安全マネジメントシステムの経緯
- ・OHSMSとISO45001
- ・ISO45001
 - 制定までの経緯
 - 論点のポイント
 - リスクの定義
 - Workerの定義等
- ・ISO45001の特徴
- ・OHSMS認証の今後の動向
- ・ISO45001のJIS化と動向
 - JISQ45001
 - 労働安全マネジメントシステムの有効性
 - JISQ45001に対する期待

(講演資料は、SA協議会会員ページに掲示予定)



3. 内容報告

2. 向殿安全賞受賞者講演

太陽誘電株式会社 山岸秀雄 様

「設備安全活動の推進及び設備安全教育の実施」

* 山岸氏より以下について講演があった。

- ・太陽誘電社の紹介
- ・設備安全活動の取り組み
 - ①国内、海外の設備安全基準の制定
 - ②国内、海外での教育推進
- ・設備安全活動の成果
 - ①労働災害の減少
 - ②設備の開発/設計者の意識&スキル向上
 - ③SAの安全チェック参画によるバラツキの補正
- ・課題と今後の活動計画
 - 既存設備の安全対策。海外工場での設備安全のプロの育成

(講演資料は、SA協議会会員ページに掲示予定)



3. 内容報告

2. 向殿安全賞受賞者講演

アズビル株式会社 渡辺 隆 様

「アズビルAACにおける製品リスクアセスメント審査の取り組み」

* 渡辺氏より以下について講演があった。

- ・アズビル社の安全に対する基本方針
- ・リスクアセスメントに関する国際安全規格と国内法規、アズビル社の規定
- ・リスクアセスメント審査体制
- ・AAC事業の製品開発フローとリスクアセスメント審査の概略
審査事例紹介
- ・製品の安全を確保するための取り組み
審査員のスキル維持向上
- ・まとめ



(講演資料は、SA協議会会員ページに掲示予定)

3. 内容報告

(3) 第2部 ディスカッション(GD)

基調講演、向殿安全賞受賞者の講演、向殿安全賞受賞者の山岸氏、渡辺氏に対してのグループでディスカッションを実施した。

◆討議事項 主な議論点は、討議用シートにある項目です。



第9回 SAスキルアップミーティング発表用（東京会場）

基調講演に対する 質問事項/学んだこと	
向殿安全賞受賞講演 に対する質問事項/ 学んだこと	山岸様講演
	渡辺様講演
SAとして今後、活動 したいこと/すべきこと	

ディスカッションで使用した
討議用シート

3. 内容報告

(3) 第2部 ディスカッション後の討議

基調講演、向殿安全賞受賞者の講演、向殿安全賞受賞者の山岸氏、渡辺氏に対してのグループでディスカッションし、その結果を元に課題、質問を提起してもらい関東WGリーダーの大賀氏をコーディネーターとして全体でディスカッションを実施した。

◆討議事項 以下のような質疑応答を行った。

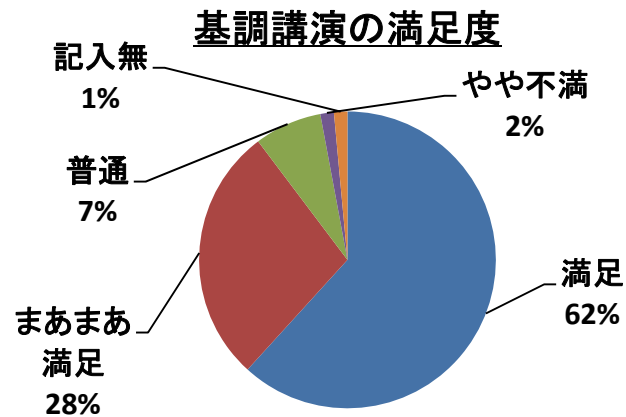
Q: ISQ45001とは別に45100を策定しているとのことだが違いは何ですか？

A: ISO45001では、これまで厚労省で独自に推進してきた内容が漏れている点がありISO 45001の不十分な点を補ったものがJIS Q45100です。

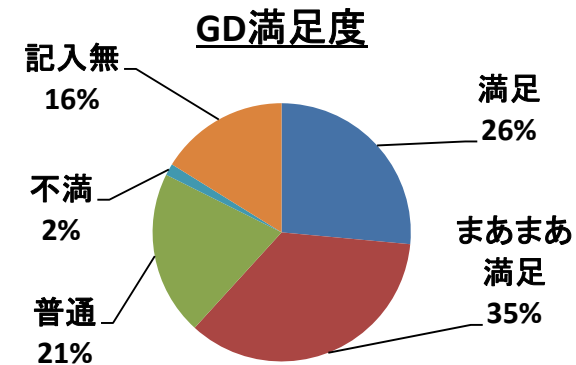


4. アンケート結果(68名から回収)

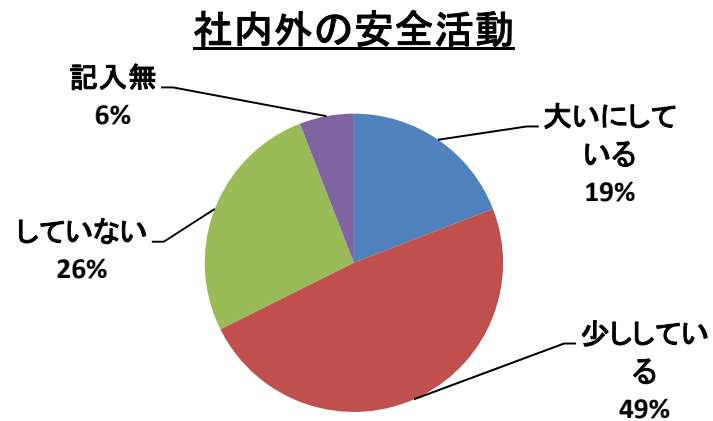
① 本日の講演についての感想は



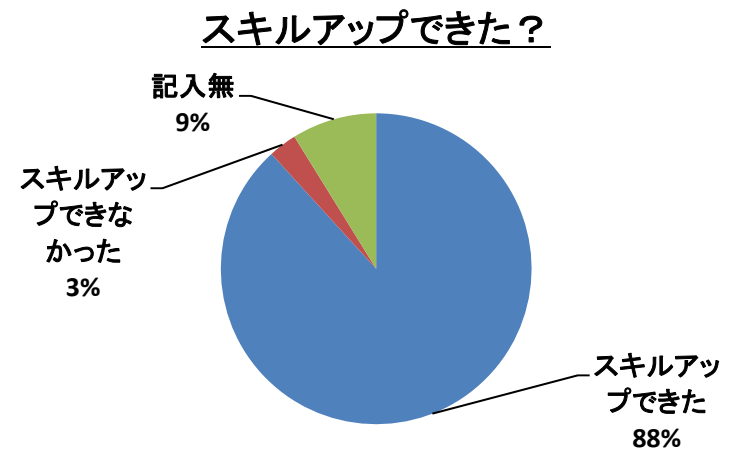
② 本日のグループ/討議についての感想は



③ 社内外での安全活動



④ 参加してスキルアップできましたか?



5. 纏め

- ・今回も大変に有意義なミーティングとなった。→スキルアップしたとのアンケート結果は、88%あった。
(ミーティング、懇親会ともに多くの方が参加した-前回よりも多くの方が参加)
- ・今回は、紫紺館の会場ギリギリまで席を確保したが、例年と同様に案内開始から数日で定員以上の方から申し込みがあり、多くの方の参加をお断りした。次回の検討課題です。
- ・今回のSUMは、昨年度に引き続き向殿安全賞の受賞者からの講演を中心に企画、大変に好評であった。また、向殿会長に基調講演で、直近での制定された「規格ISO45001の動向」を講演していただき受講者への大きな関心を集めた。
- ・受賞者講演内容に対して受講者からの質問を受けての全体討議を実施し、ディスカッション後に、質疑応答を行ったが、活発な発言があった。ただ、時間の都合によりディスカッションの時間が少なく、アンケートにもその指摘があった。
- ・アンケートにおいて、各種学習会に参加希望しますかという問いに対して、条件付きでも60%の方が、SUMに限らず参加を希望しており、機械安全に関する知識習得の機会を希望している。(昨年度は、40%強)
- ・向殿先生からの情報で、「JIS Q45100ではSA資格者が認証官として活動できる可能性が示唆され、規格が発行された場合、SAの地位向上が期待される」との説明があり、SA資格者の活躍の場が拡大する可能性がわかった。
- ・また、今後のSUM企画に対して以下の希望がありました。継続してWGで検討します。
 - ☆最新規格や将来の動向の情報。また、様々な事故事例と方策の紹介。
 - ☆各社における安全への実例を用いたリスクアセスメントの講演。
 - ☆設備のメンテ時の対応-安全対策。設備安全化の具体例。
 - ☆フリーディスカッションを希望します。
 - ☆日本国内における機械設備の技術的方策、規制の要求について

5. その他

向殿先生を囲んでの交流会

向殿先生を囲んでの楽しい懇親会を実施しました。参加者22名。

他社の方と安全の土俵で交流することにより、このような場では、本音レベルでお話ができる大変に有意義でした。1回/年だけでなく交流したい。次回もぜひ参加したいとの多くの感想が寄せられた。

